

WAVE RESEARCHER Ver3.0

横河電機(株)DARWIN/HRシリーズ対応

デモンストレーション バージョン 操作説明書

<http://www.habilis.co.jp>
sales@habilis.co.jp

株式会社ハビリス
〒108-0014 東京都港区芝4-7-1 西山ビル
TEL: 03-3769-6291 (代)
FAX: 03-3769-6285

 **Habilis Corporation**

All Right Reserved Copyright ©株式会社ハビリス 2002

目 次

1 . デモバージョンについて	1
2 . インストール	1
3 . 計測デモの操作	2
(1) 起動	2
(2) 環境設定	3
(3) 計測条件設定	3
(4) レイアウト変更	4
(5) 計測	6
4 . 編集デモの操作	9
(1) 起動	9
(2) 保存された計測ファイルの表示	10
(3) テキスト変換	12

1 . デモバージョンについて

(1)動作環境

本プログラムは以下の環境にて動作します。リリースバージョンも同様です。

OS : Windows98 / Me / NT / 2000 / XP

グラフィック : 1024 × 768 以上推奨

CPU : Pentium 以上推奨

メモリ : 256 MB 以上推奨

(2)制限事項

本プログラムは、自走式のデモバージョンです。実際に測定器と接続しても通信は行えません。

測定器との通信以外は、全てリリースバージョンと同機能です。

但し、本説明書は「Wave Researcher」®の概略をご紹介しますもので、全ての機能についての説明はしてありません。

(3)その他

本ソフトウェアの仕様は予告無く変更する場合があります。

記載されている会社名・商品名は、各社の商標又は登録商標です。

2 . インストール

(1)CD-ROMの「Wave Researcher¥Setup.exe」を実行して下さい。

デフォルトでインストールした場合は、「C:¥Program Files¥Wave Researcher Demo」にセットアップされます。

(2)デスクトップに「計測 DEMO」「編集 DEMO」のアイコンが登録されます。



また、「スタートメニュー」 - 「プログラム」に

「Wave Researcher DEMO」 - 「計測 DEMO」

- 「編集 DEMO」

が登録されます。プログラムの起動はいずれかから行って下さい。

(3)アンインストールは、「コントロールパネル」 - 「アプリケーションの追加と削除」から行って下さい。

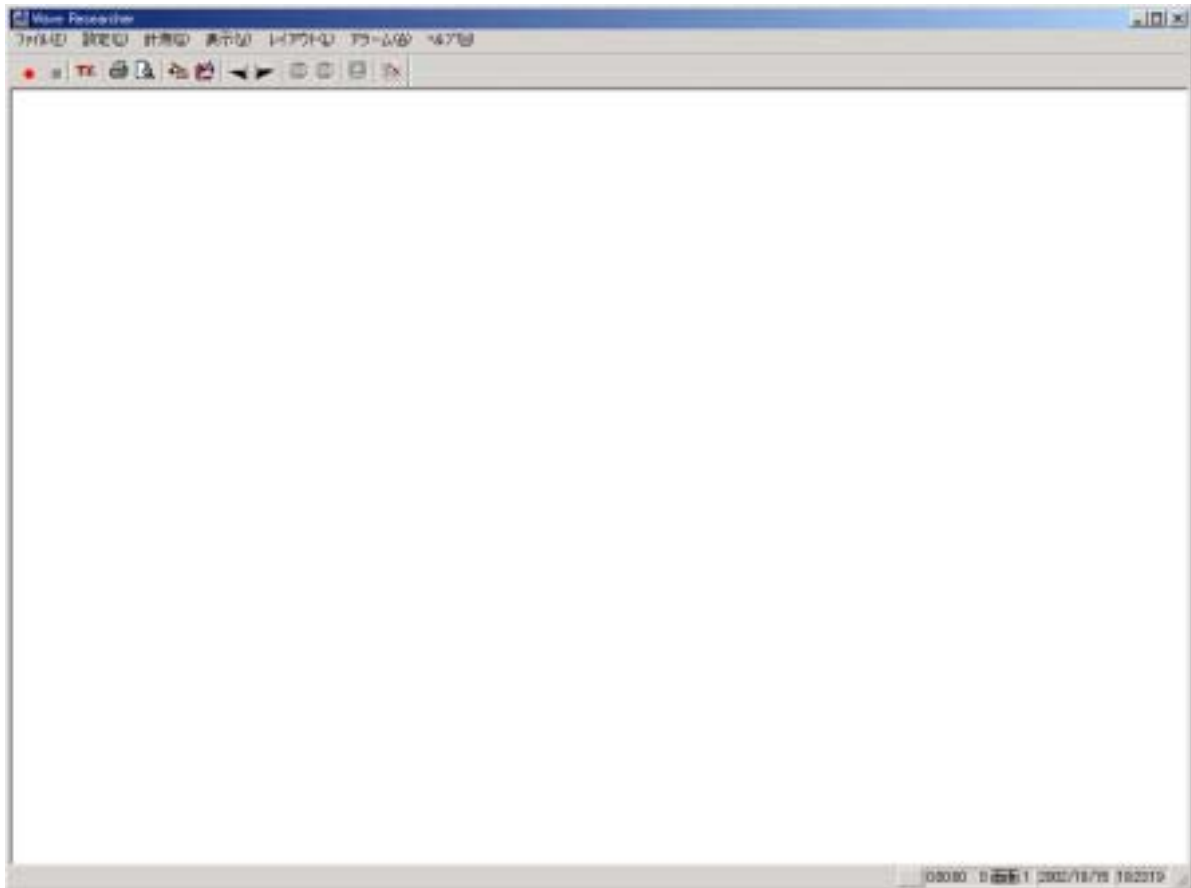
フォルダ「C:¥Program Files¥Wave Researcher Demo」及びデモ計測データは、手作業で削除して下さい。

3 . 計測デモの操作

(1)起動

デスクトップの「計測 DEMO」アイコンか、
「スタートメニュー」 - 「プログラム」 - 「Wave Researcher」 - 「計測 DEMO」から起動して下さい。

下記の画面が起動されます。



ツールバーの各ボタンから以降の操作を行います。



(2)環境設定



ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。

環境設定

データ格納パス C:\WRDATA 参照 OK

キャンセル

通信設定

チャンネル番号をユニット/チャンネル形式にする

バックグラウンドカラー [] 更新

自動ファイル削除 10 日間より古いファイルを削除

起動時に自動で計測開始

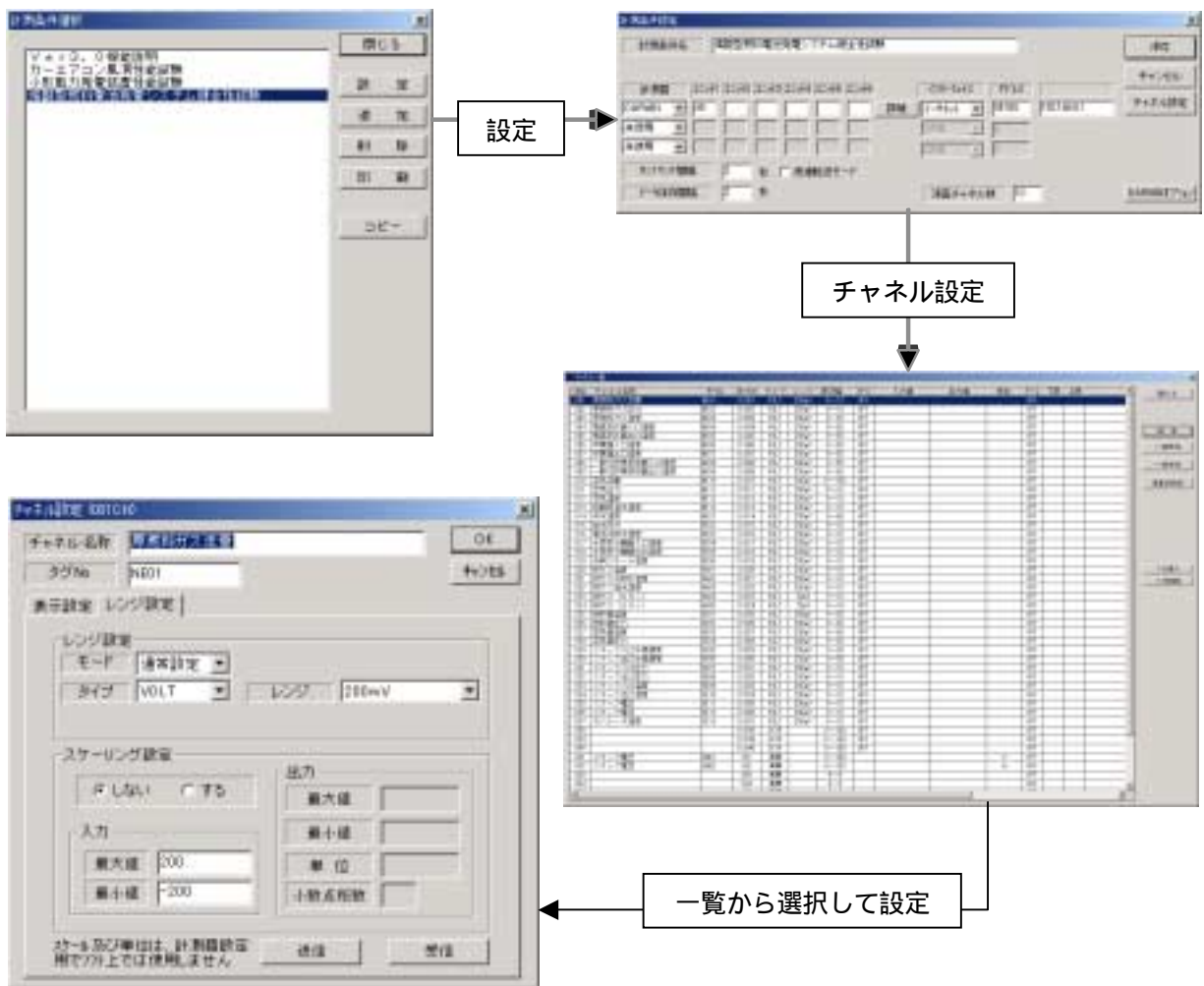
データ格納パスに、データ保存先を指定して下さい。デフォルトでは、C:\WRDATA となります。

(3)計測条件設定

本デモプロでは、あらかじめ計測条件がいくつか登録されておりますので、ご参考として下さい。以下のような画面にて、計測器とのインターフェースや、測定チャンネルの名称やレンジを登録します。




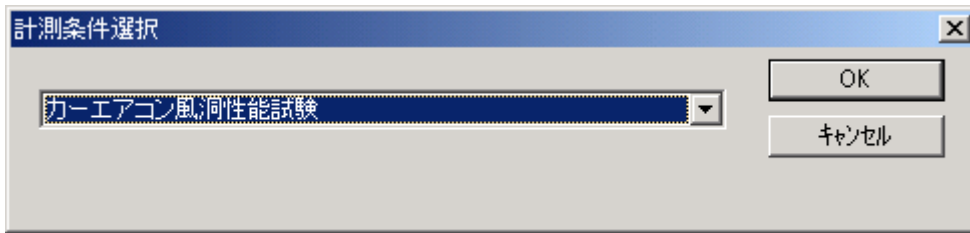
ボタンをクリックして、計測条件を設定します。



(4)レイアウト変更（画面の作成）

各計測条件に対する計測画面を作成します。本システムでは、あらかじめ計測画面が作成されておりますので、ご参考として下さい。

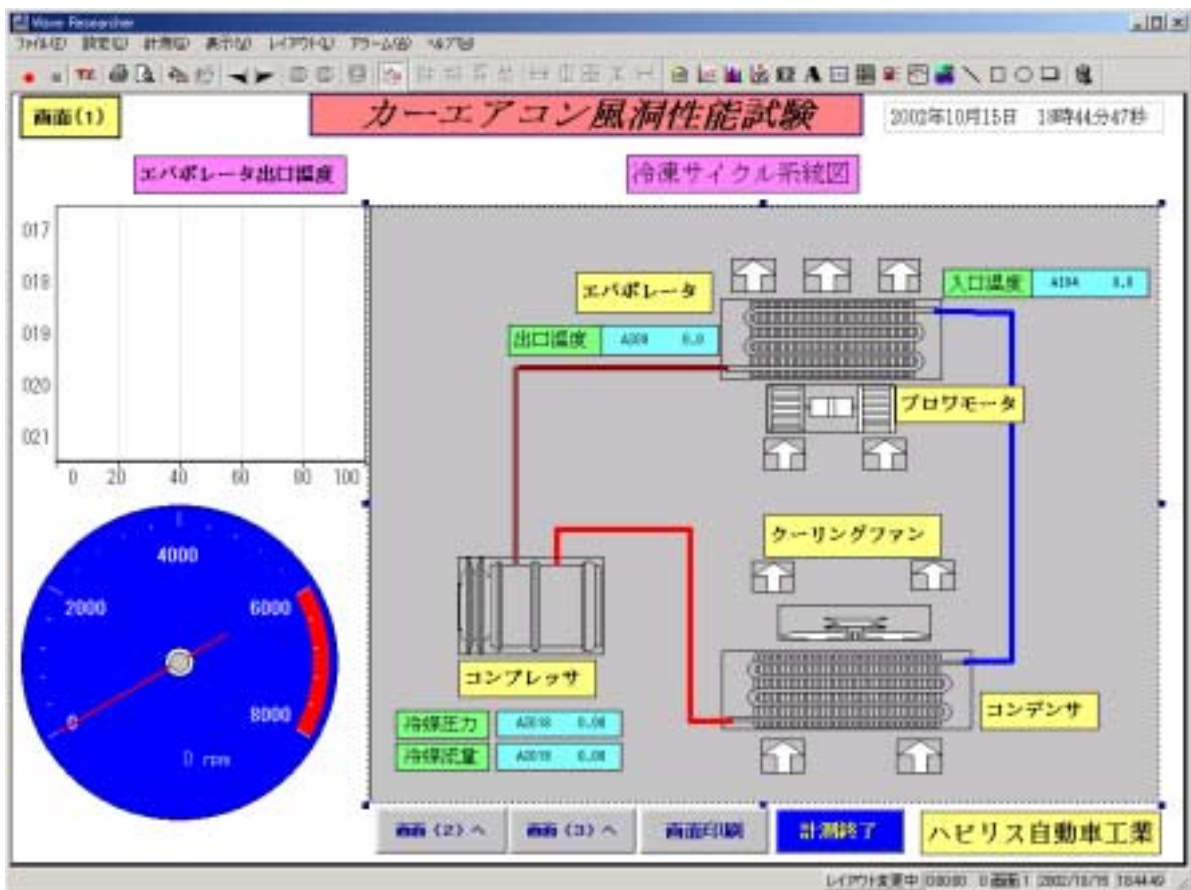
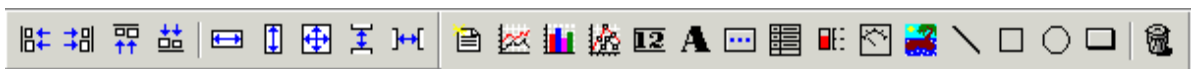
 ボタンをクリックすると、計測条件選択画面が表示されます。



計測条件を選択してOKをクリックすると、登録されている計測画面が表示されます。

下記画面が画面を作成するときのモードになります。

また、ツールバーに画面作成ツールの各ボタンが表示されます。



















上記画面の棒グラフやメーターグラフ・文字・ボタン等は、Wave Researcher の機能で作成できます。系統図中の複雑な図柄は、他のソフトで作成し、ビットマップ・メタファイル・JPEG で保存することにより、画面に貼り付けることができます。

画面の切り替えは、 ボタンで行うことができます。

ツールバーのボタンには、次のような機能があります。それぞれのボタンをクリックして画面を貼り付けます。


表示モジュール・新規画面の作成及び削除ボタン

-  新規画面の追加
-  トレンドグラフ
-  棒グラフ
-  X Y グラフ
-  チャンネル単位のデジタル数値
-  テキスト文字列
-  システム情報表示
-  瞬時値一覧
-  チャンネル単位の棒グラフ
-  メーターグラフ
-  ビットマップ / メタファイル / JPEG
-  直線
-  四角形
-  円
-  ボタン表示
-  ページ削除 (画面 1 ページの削除)


複数モジュールの整列・大きさ合わせボタン

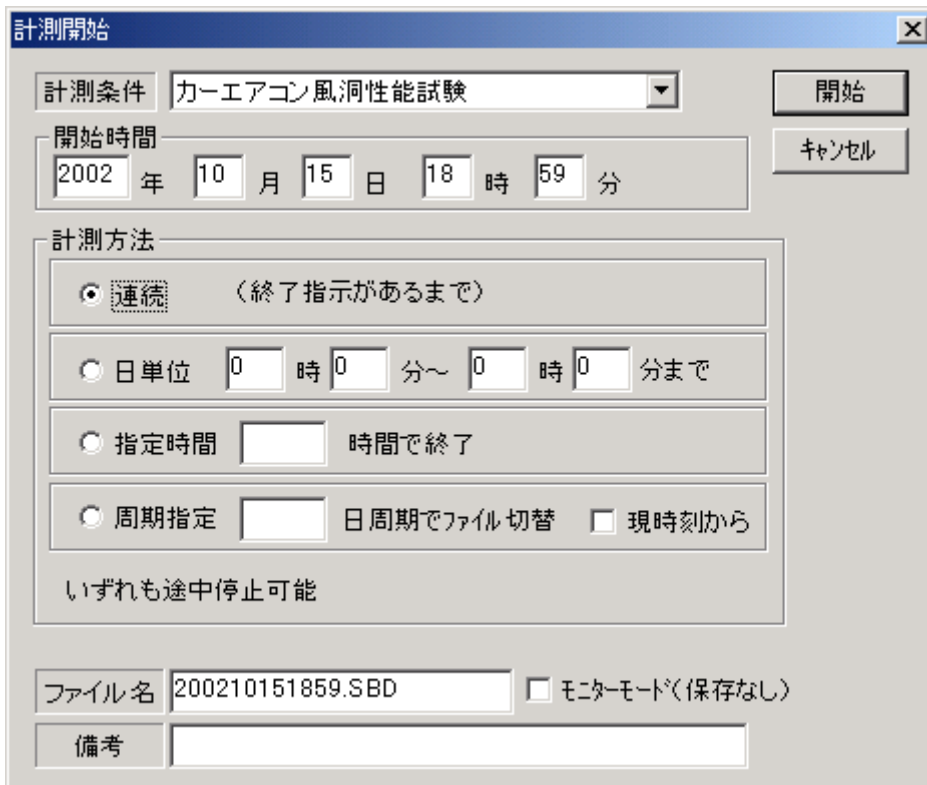
表示モジュールを複数選択した時に有効になります。(均等配置は3つ以上選択)

-  左合わせ
-  右合わせ
-  上合わせ
-  下合わせ
-  幅合わせ
-  高さ合わせ
-  幅と高さ合わせ
-  上下均等配置
-  左右均等配置

もう一度  ボタンをクリックすると、レイアウト変更機能を終了します。

(5)計測開始

 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



計測条件・・・計測条件を一覧から選択して下さい。

開始時間・・・この画面が表示されたときの、次の正分が表示されますが、任意に変更可能です。変更した場合、開始時間まで待機状態となります。

計測方法・・・いずれかを選択して下さい。

連続・・・終了指示があるまで、1つのファイルに書き続けます。

日単位・・・1日の中の指定された時間のみ計測してファイルを閉じます。

これを終了支持があるまで繰り返します。ファイルは1日1ファイル作成されます。

指定時間・・・指定された時間だけ計測して終了します。

周期指定・・・指定された日数単位でファイルを作成し、これを終了支持があるまで繰り返します。

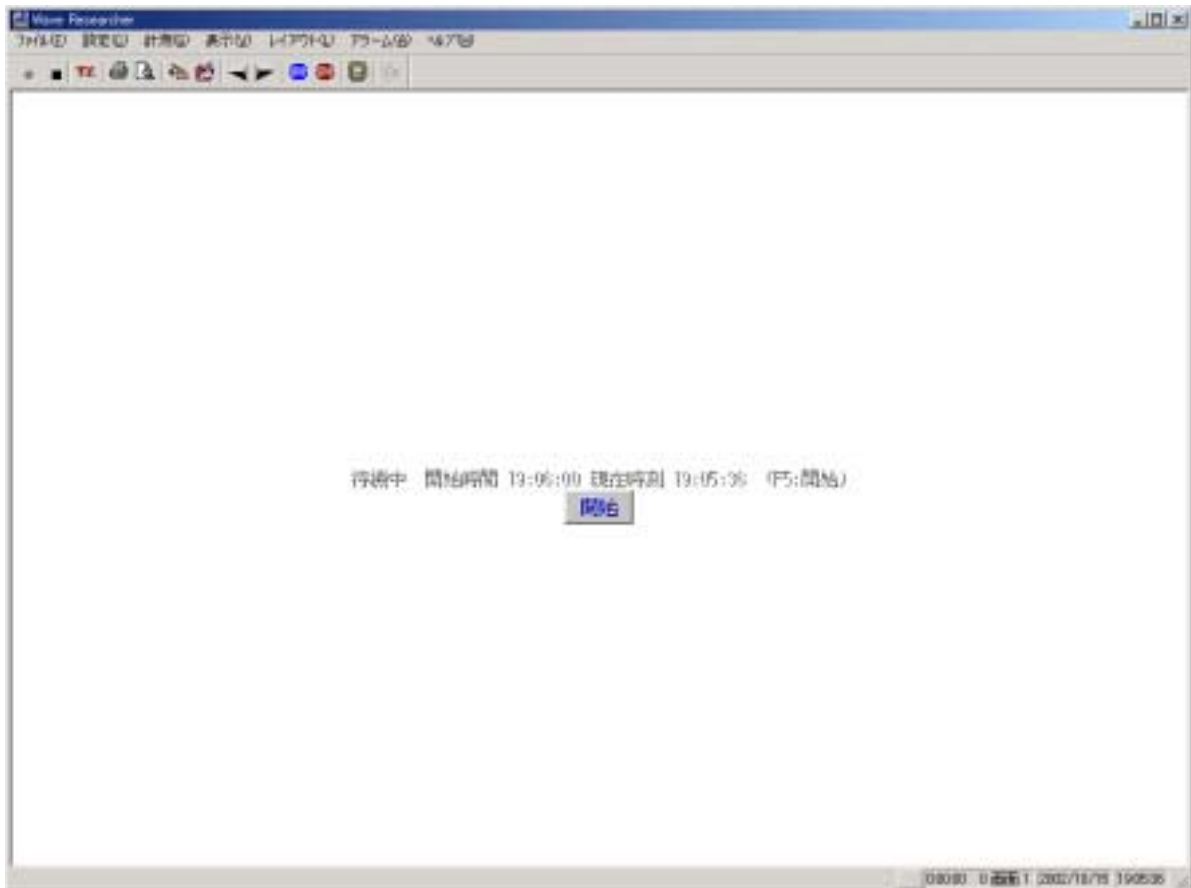
ファイル名・・・計測開始の年月日時分がファイル名となりますが、手入力での指定も可能です。

モニターモード・・・データの画面表示のみで、保存を行いません。

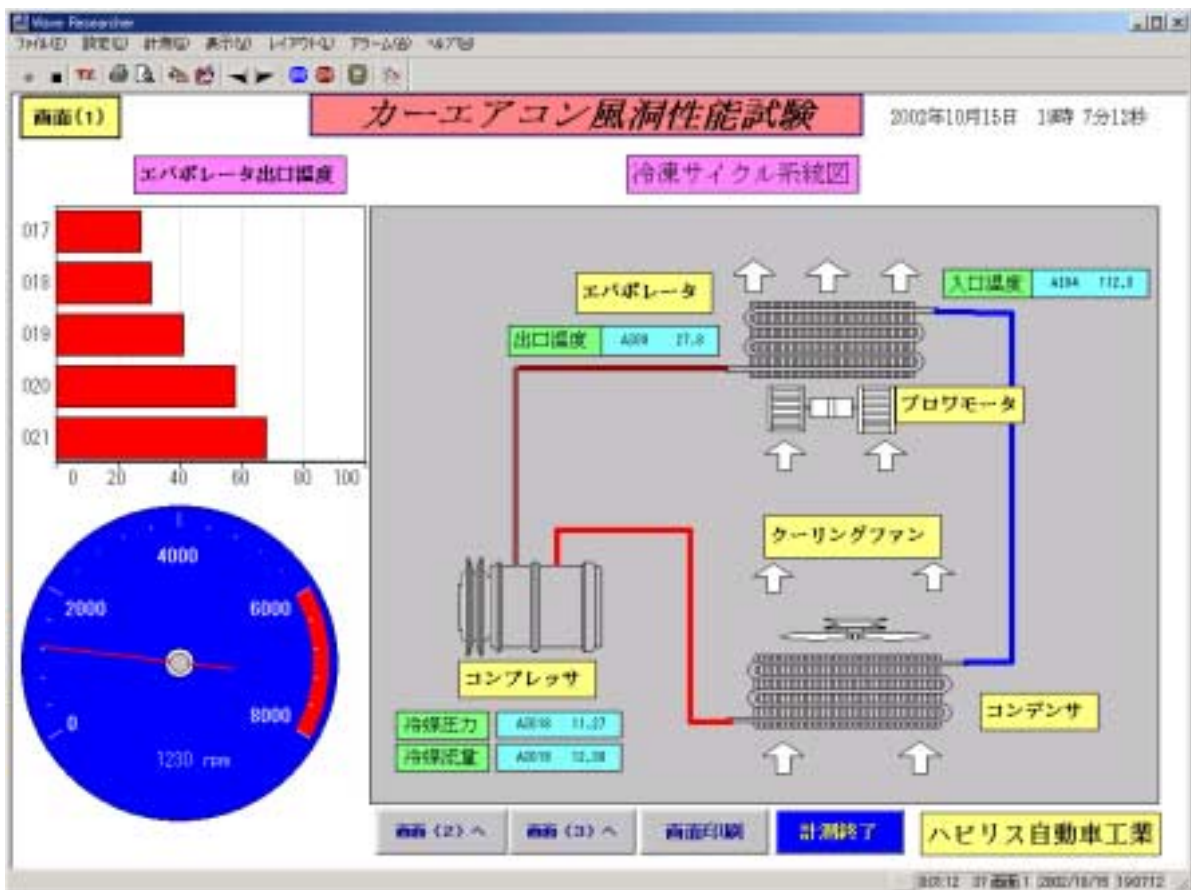
備考・・・任意入力項目です。

各項目を指定し、開始ボタンをクリックすると、開始時間まで待機後データ収集を開始します。待機中は、[F 5] キーまたは、開始ボタンで即時にデータ収集を開始します。

待機画面。




データ収集画面。



ページ切り替えは、 ボタンや画面下部のボタンで行うことができます。



計測条件毎に異なる画面が作成してありますので、計測開始画面で計測条件を変えて計測してみてください。

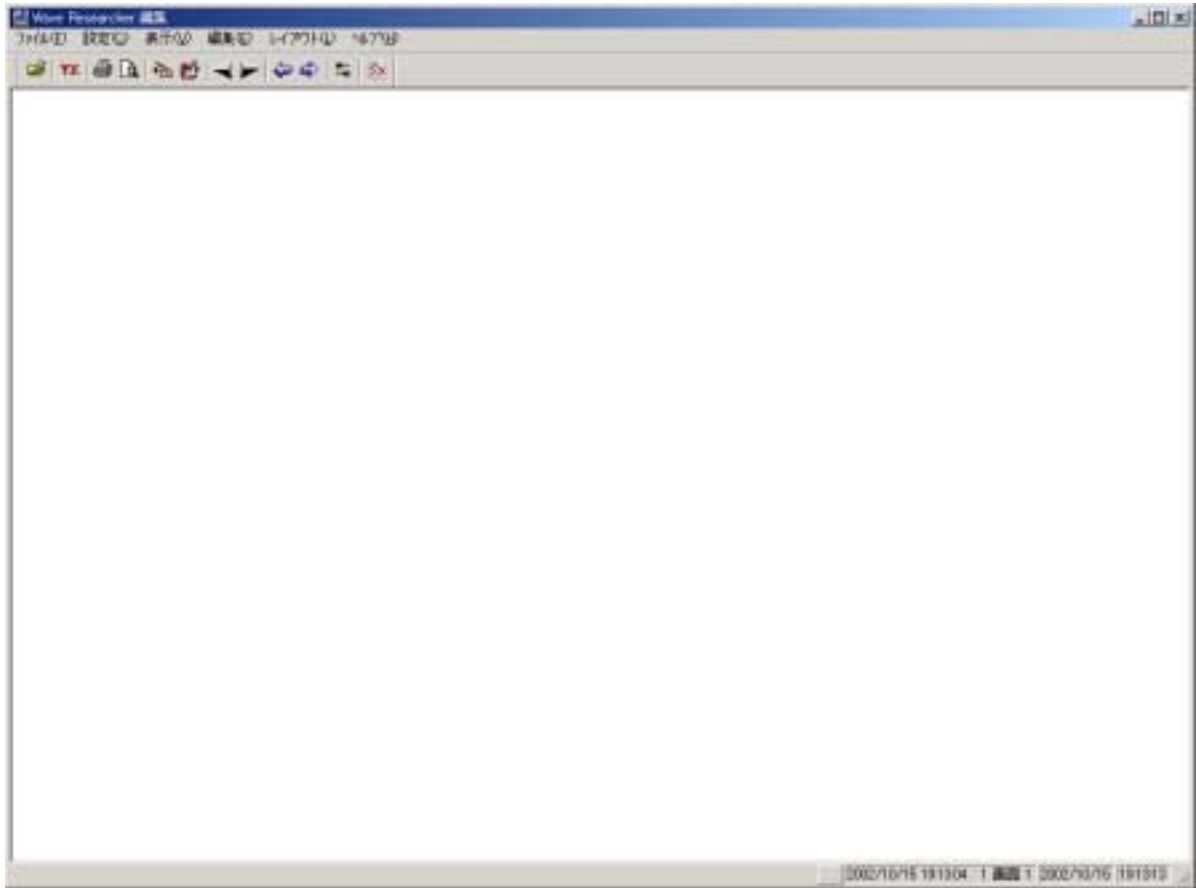
計測終了は、 ボタンをクリックして下さい。

3 . 編集デモの操作

(1)起動

デスクトップの「編集 DEMO」アイコンか、
「スタートメニュー」 - 「プログラム」 - 「Wave Researcher」 - 「編集 DEMO」から起動して下さい。


下記の画面が起動されます。

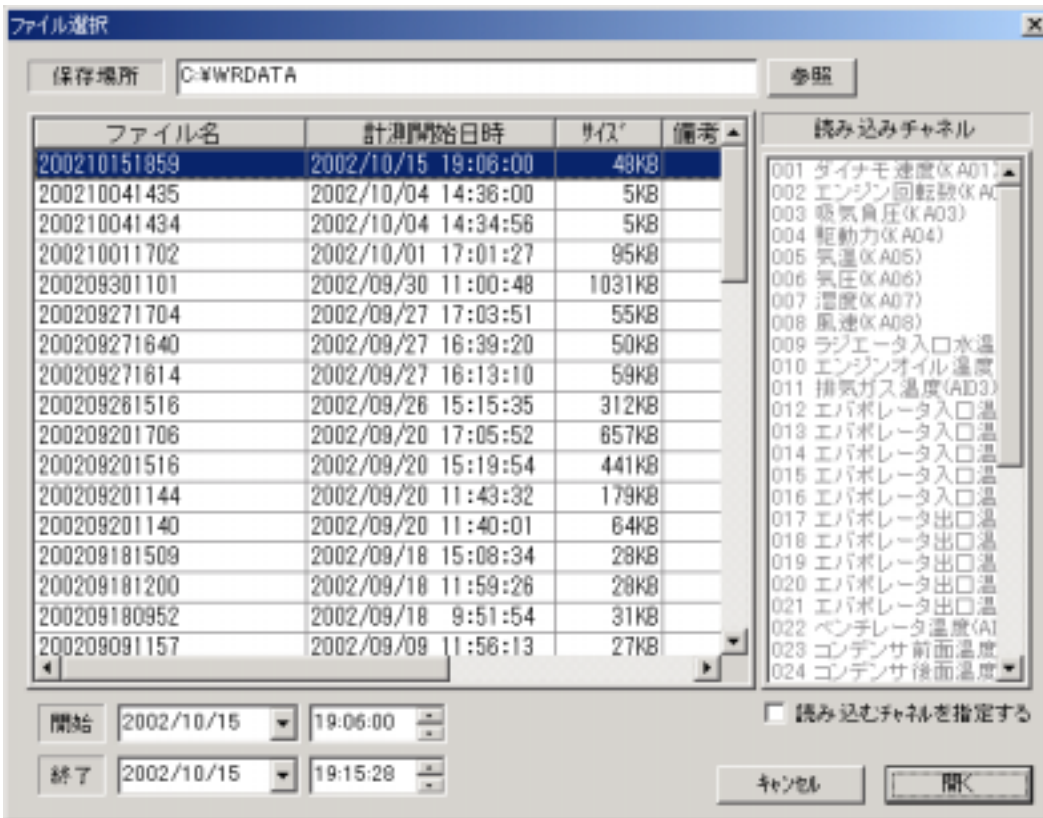


ツールバーの各ボタンから以降の操作を行います。



(2)保存された計測ファイルの表示

 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



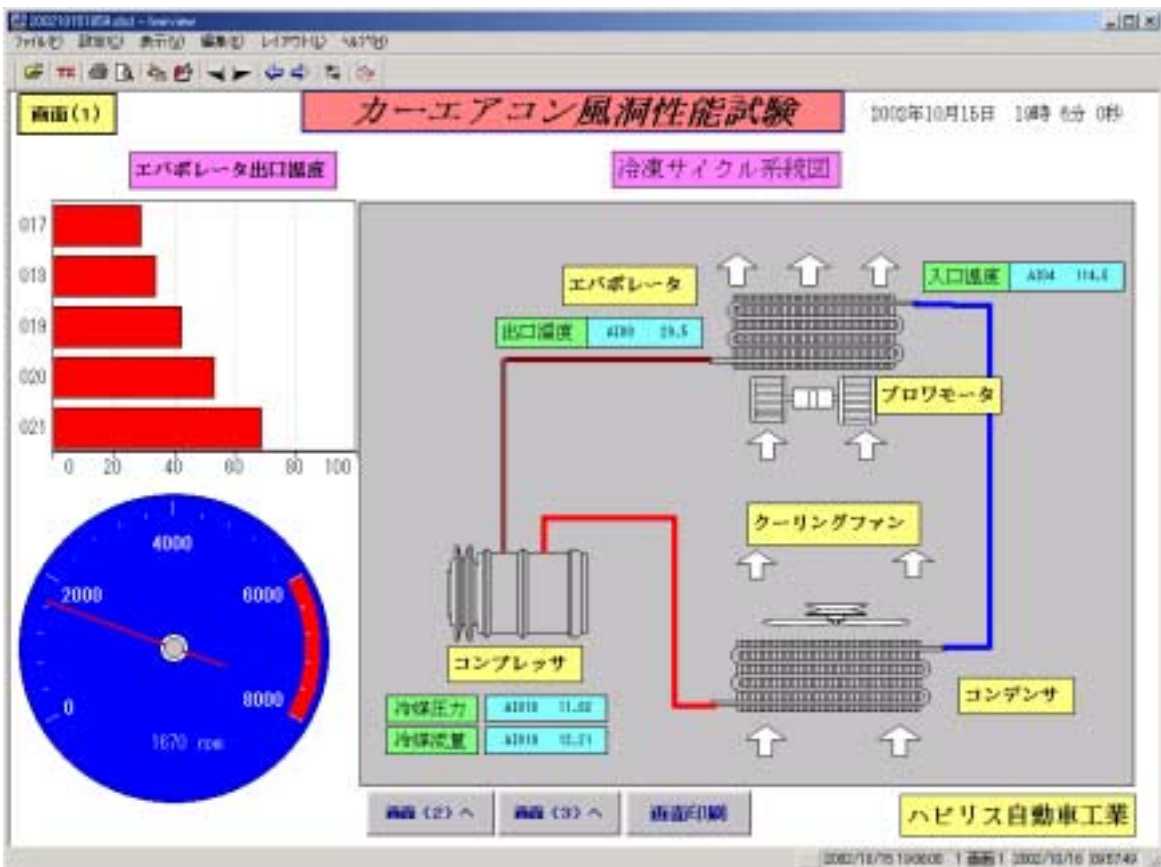
ファイル名	計測開始日時	サイズ	備考
200210151859	2002/10/15 19:06:00	49KB	
200210041435	2002/10/04 14:36:00	5KB	
200210041434	2002/10/04 14:34:56	5KB	
200210011702	2002/10/01 17:01:27	95KB	
200209301101	2002/09/30 11:00:48	1031KB	
200209271704	2002/09/27 17:03:51	55KB	
200209271640	2002/09/27 16:39:20	50KB	
200209271614	2002/09/27 16:13:10	59KB	
200209281516	2002/09/26 15:15:35	312KB	
200209201706	2002/09/20 17:05:52	857KB	
200209201516	2002/09/20 15:19:54	441KB	
200209201144	2002/09/20 11:43:32	179KB	
200209201140	2002/09/20 11:40:01	64KB	
200209181509	2002/09/18 15:08:34	28KB	
200209181200	2002/09/18 11:59:26	28KB	
200209180952	2002/09/18 9:51:54	31KB	
200209091157	2002/09/09 11:56:13	27KB	

読み込みチャンネル

- 001 タイナモ速度(KA01)
- 002 エンジン回転数(KA02)
- 003 吸気負圧(KA03)
- 004 駆動力(KA04)
- 005 気温(KA05)
- 006 気圧(KA06)
- 007 湿度(KA07)
- 008 風速(KA08)
- 009 ラジエータ入口水温
- 010 エンジンオイル温度
- 011 排気ガス温度(AID3)
- 012 エバポレータ入口温
- 013 エバポレータ入口温
- 014 エバポレータ入口温
- 015 エバポレータ入口温
- 016 エバポレータ入口温
- 017 エバポレータ出口温
- 018 エバポレータ出口温
- 019 エバポレータ出口温
- 020 エバポレータ出口温
- 021 エバポレータ出口温
- 022 ベンチレータ温度(AI)
- 023 コンデンサ前面温度
- 024 コンデンサ後面温度

開始: 2002/10/15 19:06:00
終了: 2002/10/15 19:15:28

保存されている計測データの一覧が表示されます。表示したいデータを選択して、「開く」をクリックして下さい。表示する時刻の範囲を指定したり、表示チャンネルを指定することもできます。



画面(1) **カーエアコン風洞性能試験** 2002年10月15日 19時6分0秒

エバポレータ出口温度

017	~40
019	~45
019	~50
020	~55
021	~65

冷凍サイクル系統図

入口温度: A104 114.6

エバポレータ 出口温度: A100 19.5

プロモータ

クーリングファン

コンプレッサ

コンデンサ

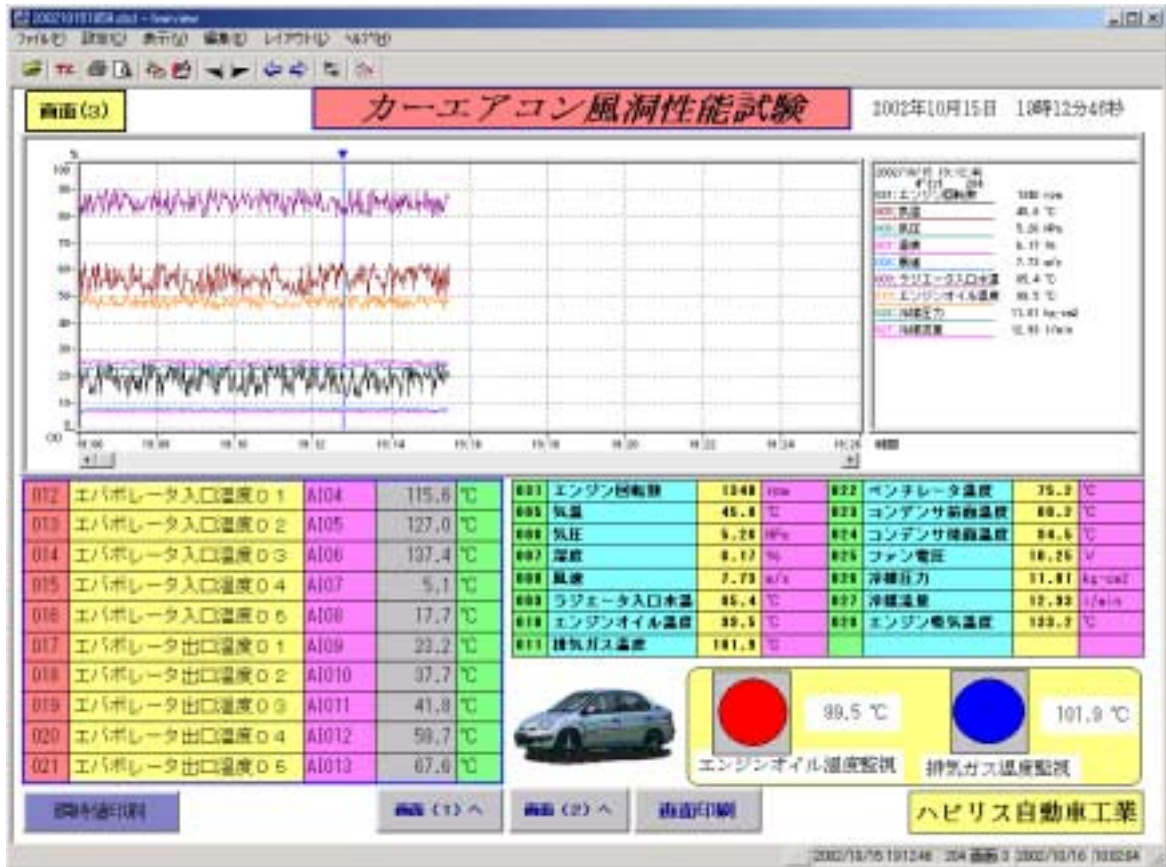
冷媒圧力: A1010 11.02
冷媒流量: A1018 11.71

タチメータ: 1670 rpm

画面(2)へ 画面(3)へ 画面印刷


ハビリス自動車工業

データは、キーボードの左右の矢印キー [] でトレースできます。
画面のページ切り替えは、計測中と同様に行うことができます。



トレンドグラフには、青いラインカーソルが表示されます。このカーソルをクリックして左右に移動すると、データトレースが行えます。

(3)テキスト変換

 ボタンをクリックすると、下記の画面が表示されます。



テキスト変換

001 ダイナモ速度(K A01)
002 エンジン回転数(K A02)
003 吸気負圧(K A03)
004 駆動力(K A04)
005 気温(K A05)
006 気圧(K A06)
007 湿度(K A07)
008 風速(K A08)
009 ラジエータ入口水温(AID1)
010 エンジンオイル温度(AID2)
011 排気ガス温度(AID3)
012 エバポレータ入口温度01(AID4)
013 エバポレータ入口温度02(AID5)
014 エバポレータ入口温度03(AID6)
015 エバポレータ入口温度04(AID7)
016 エバポレータ入口温度05(AID8)
017 エバポレータ出口温度01(AID9)
018 エバポレータ出口温度02(AID10)
019 エバポレータ出口温度03(AID11)
020 エバポレータ出口温度04(AID12)
021 エバポレータ出口温度05(AID13)
022 ベンチレータ温度(AID14)
023 コンデンサ前面温度(AID15)
024 コンデンサ後面温度(AID16)
025 ファン電圧(AID17)
026 冷媒圧力(AID18)
027 冷媒流量(AID19)
028 エンジン吸気温度(AID20)
029
030

変換
キャンセル

開始日時
2002 年 10 月 15 日
19 時 6 分

終了日時
2002 年 10 月 15 日
19 時 15 分

間引き

格納パス C:\WRDATA

ファイル名 200210151859.CSV

タイトル行
 チャネル番号 チャネル名称

時間項目を経過時間にする

チャネルを選択し、時刻の範囲を指定して、CSV形式に変換することができます。
指定した秒間隔に間引いて変換することも可能です。